

保育理念		「 いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。 」（第Ⅰテサロニケ信徒への手紙5章16～18節）とあるように、一人一人の子どもが常に前向きで、隣人愛に生きる人間形成。					保育の視点		・安全第一と親切丁寧な保育 ・喜ぶ者と共に喜び、泣く者と共に泣く保育									
保育方針		キリスト教的愛の精神によって、子ども一人一人をかけがえのない人格として認め、子どものからだと心の調和のとれた健やかな成長を願って保育する。				保育目標		心身ともに健やかな子ども ・神様を敬い思いやりの心を持つことのできる子どもを育てる。 ・生活の決まりを身につけ、友だちと助け合い共に生きる喜びを知らせる。 ・自然とのふれ合いを大切にし、神さまから与えられた生命の尊さを知らせ豊かな心を育てる。 ・創造性を高め <b>のびのび</b> と表現する力、物事に意欲的に取り組み自分で考える力を養う。										
組名（年齢）		ひよこ（未満児）			小鹿（1歳児）おおむね2歳		兎（2歳児）おおむね3歳		雀（3歳児）おおむね4歳		羊（4歳児）おおむね5歳		幼稚園（5歳児）おおむね6歳					
発達過程		6カ月未満		6カ月～1歳3カ月未満		1歳3カ月～2歳未満		・食事、着脱、排泄、自分でしようとする。 ・運動機能（歩く走る跳ぶ）の発達。 ・指先の機能の発達。 ・意思や欲求を言葉で表現する。		・基本的生活習慣の形成 ・運動機能が高まる ・言葉の発達 ・ごっこ遊びと社会性の発達		・基本的生活習慣が次第に身に付く。 ・全身バランスをとる能力の発達 ・身近な環境への関わり ・想像力の広がり ・葛藤の経験		・基本的生活習慣が身に付く。 ・運動能力の高まり ・目的のある集団行動 ・思考力の芽生え ・仲間の中の一人としての自覚。		・基本的生活習慣の確立 ・巧みな全身運動 ・自主と協調の態度 ・思考力と自立心の高まり		
		・首がすわる・寝返り ・腹ばい ・喃語		・座る這う立つ ・つたい歩き・人見知り ・言葉の芽生え		・歩く押すつまむめくる ・手を使う ・言葉の習得												
養護		生命の保持	・健康で安全な環境の中で快適に過ごす。		・安全で活動しやすい環境の中で様々な身体活動を行う。		・健康で安全な環境の中で快適な生活リズムで過ごす。		・一人一人の子どもの生理的欲求や甘えなどの 依存欲求を満たし、生命保持と安定を図る。		・保健的で安全な環境の中で、生理的欲求を満たしながら生活リズムを整えようとする。		・保健的で安全な環境のしたで、発達に応じた基本的生活習慣を身につけていく。		・保育者との信頼関係の中で自ら、体調の変化に気づき、伝えようとする。		・基本的な生活習慣が身につき、病気や事故予防などを知り、自主的に行動が出来るようにする。	
		情緒の安定	・生理的・依存的欲求を満たし生命の保持と生活の安定を図る。		・身の回りの物に対する興味や関心が芽生える。		・安心できる保育士との関係のもとで食事・排泄をしようする気持ちが芽生える。		・安心できる保育士との関係の下で食事、排泄などの活動を通して自分でしようとする気持ちが芽生える。		・安心できる保育士との関係の下で食事、排泄などの簡単な身の回りの活動を自分でしようとする。		・食事、排泄、睡眠、衣服の着脱など、生活に必要な基本的な習慣が身につくようにする。		・自分でできることに喜びを持ちながら、健康安全など、生活に必要な基本的習慣を次第に身に付ける。		・自分でできることの範囲を広げながら、健康 安全など生活に必要な基本的な習慣や態度を身に付ける。	
教育		健康	・長時間保育で疲れないように個々に合った生活をする。		・清潔で安全の中で寝返りハイハイ 座り 伝え歩き 立つ 歩くをする。		・自由な活動を十分に引き身体を動かすことを楽しむ。		・保健的で安全な環境をつくり、体の状態を観察し、 快適に生活できるようにする。		・午睡など適切に休息の機会をつくり、心身の疲れを癒して、集団生活による緊張を緩和する。		・外遊びを十分にするなど、遊びの中で体を 動かす楽しさを味わう。		・身近な遊具や用具を使い、十分に体を動かして遊ぶことを楽しむ。		・様々な遊具や用具を使い、複雑な運動や集団を通して体を動かすことを楽しむ。	
		交わり （人間関係）	・担任との関係の中で人への愛着を感じる。		・保育士がすることを模倣したりすることを楽しむ。		・自分の気持ちを出し受け止めてもらい安心して過ごす。		・安心できる保育士の見守りの中で、身の回りの大人や子どもに関心を持ち、関わろうとする。		・身の回りに様々な人がいることを知り、除々に友だちと関わって遊ぶ楽しさを味わう。		・身近な人と関わり、友だちと遊ぶことを楽しむ。 ・神様に愛され、守られていることを知る。		・友だちとのつながりを広げ、集団で活動することを楽しむ。 ・神様に愛され、守られていることを知る。		・周りの人々に対する親しみを深め、集団の中で自己主張したり、また、他人の立場を考えながら行動する。 ・神さまに愛され、守られていることを知る。	
		探求  （環境）	・保育士の見守りの中寝返り、腹這い等探索活動を充分に楽しむ。		・戸外遊び、一人遊びを楽しむ、好きな玩具で遊ぶ。		・身の回りの様々なものを自由にいじって遊び、外界に対する好奇心や関心を持つ。		・保育士と一緒に人や動物などの模倣をしたり、経験したことを思い浮かべたりして、ごっこ遊び を楽しむ。		・保育士と一緒に人や動物などの模倣をしたり、経験したことを思い浮かべたりして、ごっこ遊び を楽しむ。		・身近な動植物や自然事象に親しみ、自然に触れ十分に遊ぶことを楽しむ		・身近な事物などに関心を持ち、それらの面白さ、不思議さ、美しさなどに気づく。		・日常生活に必要な事物を見たり、扱ったりなどして、その性質や存在に興味を持ったり、数、量、形などへの関心を深める。	
			・室温、湿度に気を付けて快適にすごせるようにする。		・玩具や身の回りのもので遊ぶ。		・自然や身近なものに興味をもち、探索を楽しむ		・安全で活動しやすい環境の中で、自由に体を動かすことを楽しむ。		・身の回りの物や親しみの持てる小動物や植物を見たり、触れたり、保育士から話を聞いたりして 興味や関心を広げる。		・身近な環境に興味を持ち、自分から関わり 生活を広げていく。		・身近な環境に興味を持ち、自分から関わり身の回りの事物や数、量、形などに関心を持つ。		・身近な社会や自然と触れ合う中で自分たちの生活との関係に気づき、それらを取りいれて遊ぶ。	
表現 （言語）		・保育士の声や眼差しやスキンシップを通してなん語が育まれる。		・なん語や片言を受け止めてもらい発語や保育士とのやり取りを楽しむ		・絵本や紙芝居を楽しむ ・話しかけを喜び、自分から片言でしゃべる。		・保育士の話しかけや、発語が促されたりすることにより、言葉を使うことを楽しむ。 ・保育士と一緒にさんびと祈りをする		・興味のある事や経験した事等生活の中で保育士と共に好きな様に表現する。 ・保育士と一緒にさんびと祈りをする		・生活に必要な言葉がある程度わかり、したいこと、して欲しいことを言葉で表わす。 ・友だちや保育者と共に、祈り、さんびする。		・人の話を聞いたり、自分の経験したことや思っていることを話したりして、言葉を伝える楽しさを味わう。 ・友だちや保育士と共に、祈り、さんびする。		・感じたことや思ったこと、想像したことなどを自由に工夫して、表現する。 ・友だちや保育士と共に、祈り、さんびする。		
		・ゆったりとした授乳を心がけ、乳以外の味に慣れる。		・手づかみ食べを大切にしながら食べる意欲を育てていく		・こぼしながらスプーンを使うイスに座り楽しくたべる。		・様々な食品や調理形態に慣れ、楽しい雰囲気の中で食べる事が出来る様にする。		・楽しんで食事、間食をとることが出来る。 ・色々な食材に興味をもつ。		・楽しんで食事や間食を取ることができようにする ・作物を育てて食する事に関心を持つ。		・友だちと感謝の気持ちをもって食事を味わう。 ・作物の生長に、関心興味を持ち食する事を楽しむ		・食事をする事の意味が分かり、楽しんで感謝する。 ・食材を栽培し成長観察収穫しクッキングし感謝していただく。		
健 康 支 援		・健康・発育・発達状況の把握 ・心身・家庭生活・養育の把握 ・健康診断(内科・歯科)実施(年2回)尿検査実施(年2回) ・疾病等の異常が見られた時の対応 ・検温(毎日)										保護者地域支援		・子育て相談 ・一時保育事業(休み) ・延長保育 ・地域関連機関(市保育課・児童相談所等)との連携 ・実習生・職場体験(小・中・高校生)・ボランティアの受け入れ ・保護者会(奉仕作業・交流会)				
環境衛生管理		・施設内外の設備・用具・玩具の清掃・消毒・J・害虫駆除(年2回)・グリストラップ <sup>®</sup> (調理室) ・温度等の調整 ・衛生管理 ・食中毒発生時の対応 ・園児衛生指導 ・職員衛生知識向上										小学校との連携		・保育所児童保育要録の作成、提出 ・小学校見学やお招き会参加				
安全対策事故防止		・施設・遊具・玩具・園庭等の安全管理 ・避難(火災地震消火)訓練(月1回)実施 ・消防点検 ・交通安全指導										三 大 行 事		・ファミリーデー10月・クリスマス12月 保護者参観 幼稚園組保護者のみ ・生活発表会2月 保護者参観				